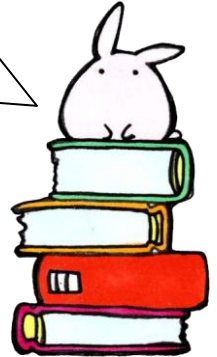


# Shono Street

庄内農業高等学校  
図書館だより  
2013.9.19  
No. 6

9月の図書館だよりでは、「新着図書案内」、「図書貸出状況」、「朝の読書の感想ピックアップ」、などたくさんお知らせ・紹介がありますのでぜひ読んでください。



## 新着図書案内

『和菓子のアンソロジー』 小川一水ほか 著

忙しい日々の疲れも。苦い人生も。  
辛い体験も。やさしい甘さが溶かします。  
10人の人気作家による和菓子モチーフの新作短編集。

「空の春告鳥」おすすめです。



『村上隆完全読本美術手帖全記事』

『もやしもん 11』 石川雅之 **貸出禁**

『女性画家10の叫び』 堀尾真紀子

『未来力養成教室』 日本SF作家クラブ

『ゲート 1』 柳内たくみ

『ゲート 2』 柳内たくみ

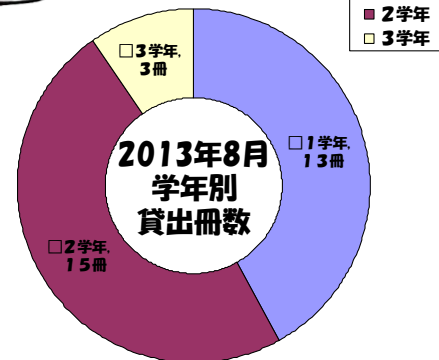
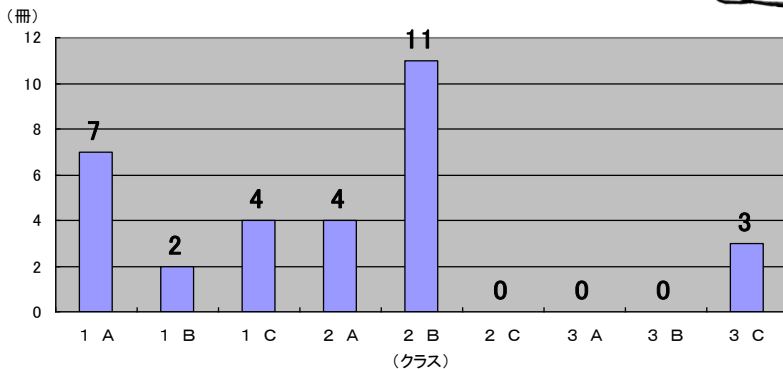
『日本人の知らない日本語 2』 **貸出禁**

『傷物語』 西尾維新

## 8月の各クラス・各学年 図書貸出状況



8月の各クラス館外貸出利用



8月は、2年生の貸出冊数が最多で15冊でした。  
分類別で見ると、総数のうち文学（小説・エッセイなど）が15冊でトップとなりました。  
その後は、技術が5冊となりました。

グラフからは各クラスの貸出利用は2Bが、学年別では2学年が、多く読んでいる結果となりました。

だんだん涼しくなってきた、本を読むのに最適な季節になります。楽しみましょう。

# 「朝の読書」感想ピックアップ!

「いのちをはぐくむ農と食」小泉武夫 著

◆この本を読んで今の日本の農業が衰退してきていることがわかりいずれ日本から農業がきえてしまうのではないかと思い。今後の農業がすごく心配になりました。(3A・菅原健太くん)

◆この本を読んで自分は、日本の農業が衰退していく中で、今必要なのは私たちの農業への関心か食の大切さだと思った。食への関心は1人1人の意識で変わると思った。(3A・若生隆くん)

「13歳からの論理ノート

「考える」ための55のレッスン」小野田博一 著

◆論理ノートを読むと、難しい内容がたくさん書かれていました。今すべて解読しなくても、少しずつ意味を考えて学習していきたいと思いました。(2B・新穂奈津美さん)

◆よく論理的とか非論理的だという人がいるけれど、人によって見方がちがえば、それが逆になることがわかった。(2B・板垣春美さん)

「農は過去と未来をつなぐ

田んぼから考えたこと」宇根豊 著

◆昔の農業と今の農業の違いを知った。かわらないことは、生物のすみかということだった。

(1A・阿部咲輝くん)

◆田んぼは生き物がたくさんいて、未来につないでいかなければいけない事が分かりました。(1A・今野聡さん)

「10代のうちに考えておくこと」香山リカ 著

◆10代の時期は、この先の人生を生きていくうえでとても重要なことをたくさん学ぶ時期です。なので、私はこの先の人生をよりよいものにしていくためにも、今のうちにたくさん学習していきたいと思えます。(1B・小林諒実くん)

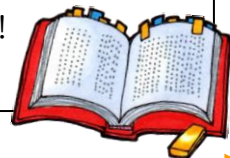
◆将来どんな進路に進もうか、自分に自信がない、そんな悩みは、私も持っていたので、自分のためにもなる本でした。(1B・佐藤愛理さん)

「勇気ってなんだろう」江川紹子 著

◆勇気ってというのは、無理をしてまでするのかと思いました。アルピニストの野口健さんは、遠征前に「無理しないでくださいね」と言われた時、なんてこたえればいいのか困りました。僕もなので勇気をもった行動ができるようにしたいです。(1C・本間克幸くん)

◆読んでの感想で、いちばん印象にのこっているのは、1回ごとに「成功」とか「失敗」といったように結論をつけるのではなく、人生をトータルで考えようという言葉がとてもいいなと思いました。(1C・五十嵐英江さん)

また次回、本の交換をした後に感想を紹介しますので、お楽しみに!



## 今日は何の日?

今日は月をながめて楽しむ行事、十五夜(旧暦8月15日の夜)です。今日の月は「中秋の名月」ともいい、古くからこの夜の月は名月として親しまれたそうです。旬のサトイモをそなえたので、「いも名月」ともいわれるそうです。きれいな月が見られるといいですね。

